

認知症に、早く気づくことが大切です。

早期に

発見すれば
準備ができる

早期に

診断すれば
治療ができる

早期に

治療すれば
症状の進行を遅らせる

認知症の経過によって、利用できる支援がかわってきます。

	気づき	軽度	中度		重度
	認知症の疑い	認知症の症状はあるが、日常生活は自立	誰かの見守りがあれば、日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
認知症の症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 忘れることが多いが、日常生活は自立している。 ● 料理や趣味など、好きなことへの関心がうすれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいことを覚えられない。 ● 買物やお金の管理にミスがみられるが、日常生活は自立している。 ● 探し物が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 薬の飲み忘れが増える。 ● 道に迷うことが、増えてくる。 ● 買物など今までできていたことができなくなってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間や日時、季節がわからなくなる。 ● 食事や着替えに手助けが必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活で、常時介助が必要となる。
家族の方や周囲の方の関わり方	◎認知症サポーター養成講座に参加するなど、認知症に関する正しい知識や接し方のコツを学びましょう。	◎対応の仕方に困ったことがあれば、地域包括支援センターや担当のケアマネージャーに相談しましょう。 ◎介護保険サービス等の支援を活用しましょう。 ◎認知症カフェや認知症の方と家族のつどいなどに参加し、同じ悩みを抱えている人達と話せる場所とつながってもいいかもしれません。			
相談窓口	●高齢者の総合相談窓口(江北町地域包括支援センター、認知症地域支援推進員) ●認知症初期集中支援チーム ●居宅介護支援事業所のケアマネージャー				
医療	●かかりつけ医 ●かかりつけ歯科 ●かかりつけ薬局 ●認知症の相談ができる医療機関 ●訪問診療 ●訪問歯科診療 ●訪問看護				
介護予防・悪化予防	●介護予防教室 ●地域のサロン、通いの場 ●地区老人クラブ ●シルバー人材センター ●オレンジカフェ(認知症カフェ)				
安否確認・見守り	●愛の一声運動 ●配食サービス ●緊急通報システム ●認知症サポーター ●徘徊高齢者等見守り事業(見守りシール交付)				
つながり・家族支援	●認知症の方と家族のつどい ●認知症サポーター ●オレンジカフェ(認知症カフェ) ●紙おむつ支給				
権利擁護	●成年後見制度 ●消費生活相談 ●安心サポート(江北町社会福祉協議会) ●法律相談				
介護保険・住まい	●総合事業・介護保険サービス(住宅改修・福祉用具・訪問介護・訪問看護・ショートステイ等)		●介護保険サービス(グループホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・介護療養型医療施設等)		
	●有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅等				

※「認知症かな?」と思ったら、その症状に合わせた支援内容を一覧表としています。ただし、個人差がありますので、あくまで目安とさせていただき、必要時には相談窓口にご相談ください。